

8. あなたの実践をあなたの立場に一致させる

エペソ人への手紙 1 章 4 節

すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

神様はキリストにあって、私たちを選び、聖く、傷のない者にしようとされました。“聖く”なることは、罪を離れ義に向かって献身すること、“傷のない者”になることは、間違いや失敗のないイエス様のような者になることです。エペソ 1：4 でパウロは、神様がキリストにあって私たちがどのように見ておられるのかという私たちの立場について書いています。私たちが救ってくださったキリストが聖く、傷のない者なので、私たちもそのような者として神様は見て下さるのです。

神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義となるためです。(Ⅱコリント 5：21)

神様の目に私たちは高い立場にありますが、実際の生活は神様の聖い基準より遥かに低く、罪と失敗だらけです。ですからクリスチャンの課題、目標は、私たちの生き方、実生活を与えられている立場に合わせていくことです。私たちは天国に行くまで、罪のない完全な人生は送れないからです。

そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。(ローマ 8：23)

私たちはどうすればこの課題、目標に向かって歩むことが出来るのでしょうか。それは聖書の学びと祈り、そして聖霊の助けが必要です。神様が私たちが救ってくださった偉大な目的、私たちが“神の作品”と呼ばれ、聖く傷のない者となる、その目的のために今日も献身してまいりましょう。

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えて下さったのです。(エペソ 2：10)

神様、私たちに自分の力ではなく、イエス様によって“義”が与えられていることをありがとうございます。主よ、私の心を探り、私の成長を遅らせている罪を示してください。罪を認め、私の人生から罪を取り除くために必要なステップを踏むことが出来ますように。イエスの名によって、アーメン。

